


順天堂大学大学院ヘルスコミュニケーション学 コースの概要と将来的展望

～ 医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、
医療通訳者の養成を目指す ～

順天堂大学大学院医学研究科医科学修士課程医療通訳分野
国際教養学部 大野 直子



2020.11.04 (WED)
プレスリリース 大学・大学院

順天堂大学大学院医学研究科に医療通訳者養成のための「ヘルスコミュニケーションコース」を開設

～ 医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、医療通訳者の養成を目指す ～

順天堂大学大学院医学研究科（医学研究科長：服部信孝）は、医学研究科医科学専攻修士課程に、医療通訳者（英語・中国語）を養成するヘルスコミュニケーションコースを開設します（2021年4月開講予定）。ヘルスコミュニケーションコースでは、厚生労働省の医療通訳養成カリキュラムに基づく認定医療通訳者養成講座を修め、医療通訳に必要な専門的知識、技術を体得し、医療通訳を必要としている患者や家族に適切な支援を提供して、医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、医療通訳に重要な役割を果たす人材を養成します。

本日お話しすること

- ・なぜ、医療通訳者の養成が必要なのか？
- ・医療通訳とヘルスコミュニケーションはどのような関係があるのか？
- ・順天堂大学大学院医学研究科の医療通訳コース内容
- ・ヘルスコミュニケーション学コースの将来的展望

なぜ、医療通訳者の養成が必要なのか？

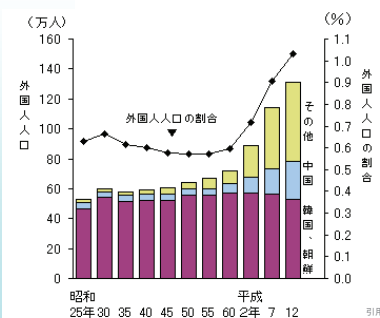
（医療通訳とその養成の背景）

「外国人」患者とは： 主な分類

1. 在留外国人患者
2. 医療目的で日本の医療機関を受診する渡航受診者（医療ツーリズム）
3. 滞在中に治療が必要となった外国人旅行者

© 2021 Naoko Ono

在留外国人人口割合の増加

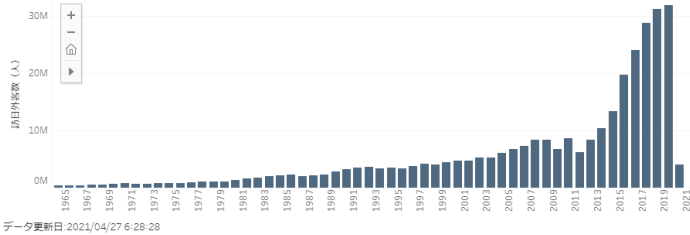


訪日外国人数の増加

引用元：日本政府観光局Webサイト
<https://www.jnto.go.jp/eng/visitor/visitor-statistics.html>

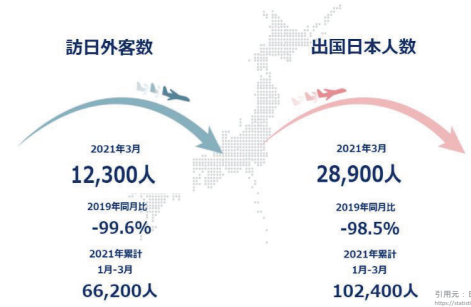
© 日本政府観光局 (JNTO)

年別 訪日外客数の推移

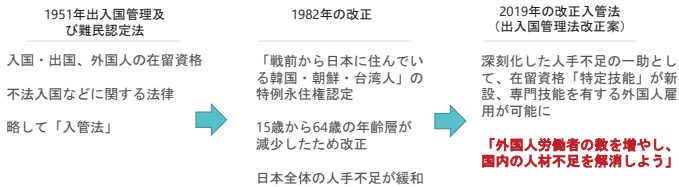


2021年3月訪日外客数 および 出国日本人数

2021年3月 訪日外客数および出国日本人数



外国人患者増加の背景：改正入管法



© 2021 Naoko Ono

病院における外国人診療の現状

- 適切な医療へのアクセスが難しい
- 不十分な医療通訳者の数 (特に日本における希少言語)
- 多言語の書類や、食事対応、祈祷室などに苦慮
- 自己申告の病氣と診断の解離
- 支払のシステムが違うので、未収金問題につながることもある

引用元：『座談会 外国人診療の実態』日本医師会雑誌第147巻第12号pp2429-2443,2019.

外国人医療の障壁

言葉の壁
 やさしい日本語、ツールの活用、
 図と一般用語、通訳の活用

文化の壁
 医療文化など

制度の壁
 入院日数、診察時間、医師指名制、
 保険制度、支払い方法など

参考文献：医療機関における外国人患者対応 実践編 (診療編) りんくう総合医療センター 国際診療科 部長 南谷みどり先生
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/iryo_hoken/gaikokujin/gaikokujintaisaushienkensyu/30gaikokujinkensyu2.files/kouen2.pdf

© 2021 Naoko Ono

外国人医療の障壁

言葉の壁
 やさしい日本語、ツールの活用、
 図と一般用語、通訳の活用



- 単語レベル (大動脈瘤、など) は正確
- 長い文章になると怪しくなってくる
- 同音異義語の間違いは注意
- ICなどではなく、単純な場面で短文で使用

© 2021 Naoko Ono

対話によるコミュニケーション —医療通訳はDialog Interpreting—

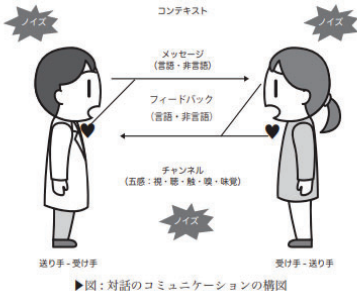


図: 対話のコミュニケーションの構図

引用元: 厚生労働省『医療通訳』
<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/00036181.pdf>



「送り手と受け手の間で、共通理解がない言葉や表現によって起きる障害」
ex. 専門用語、文化の違い等

引用元: 石川ひろの『保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門』8ページ25/サイズより

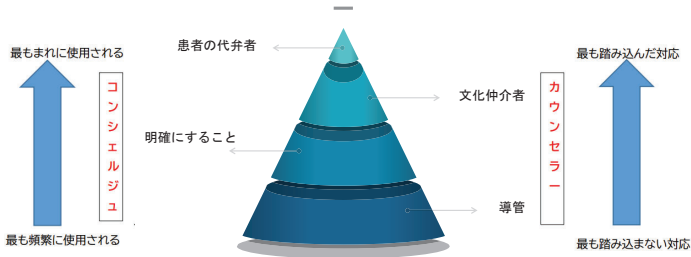
医療通訳者の非言語コミュニケーション

■立ち位置 (空間的距離、位置)	■通訳者が患者の後ろに立つと、患者と医療従事者が互いに視線を合わせて対話することができる
■表情 (身体動作)	言語メッセージと表情が矛盾していないか
■話し方やタイミング (準言語的C)	マスクをしているときには特に注意聞きづらいため信用を得にくい
服装	周囲の医療者から浮かないように
におい	香水はNG。周囲の医療者を参考に



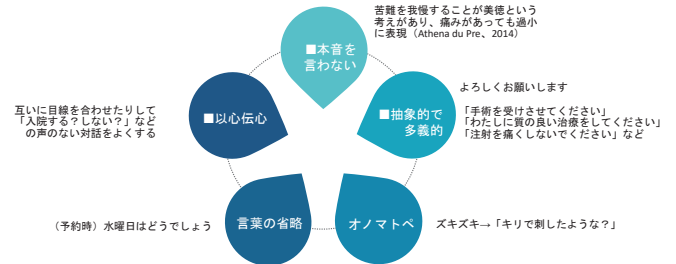
引用元: 厚生労働省『医療通訳』139ページより■部分とイラストを引用
<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/00036181.pdf>

医療通訳者の役割

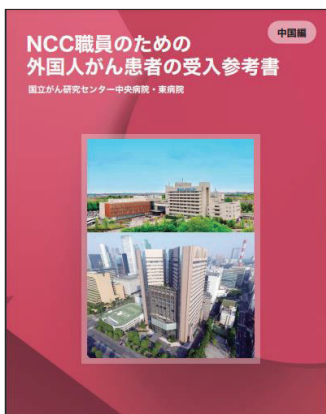


(A Basic Textbook for Medical Interpreters(2014)より引用。□の赤字部分は著者により追加)

異文化コミュニケーション： 日本人のコミュニケーションの特徴



引用元: 厚生労働省『医療通訳』148ページより■部分を引用
<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/00036181.pdf>



Part 1 ▶ 患者を知る

1-1 中国の基本情報 4

1-2 中国の医療事情 10

1-3 中国人から見た日本の医療 15

1-4 受入れ時の注意点 20

PART 2 ▶ 患者受入業務

2-1 受入フローについて 25

2-2 病院内各スタッフの役割とチェックリスト 30

2-3 言語ツール、院内表示、問診票に追加すべき項目 33

2-4 入院生活の環境整備 38

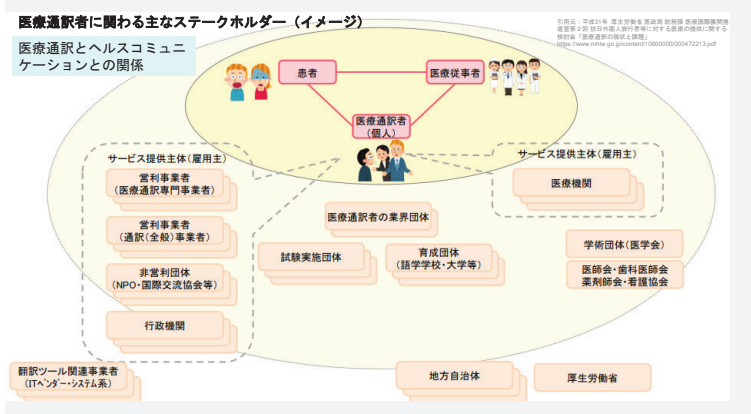
2-5 治療終了・退院時の手続き 40

PART 3 ▶ リスクの回避

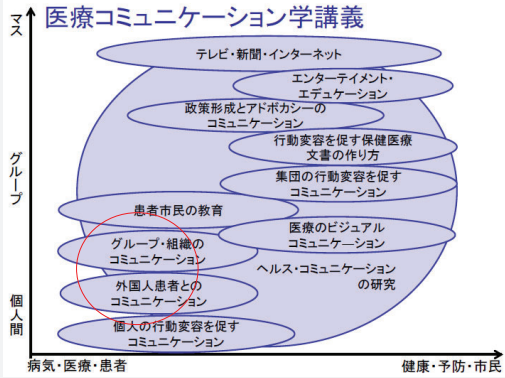
3-1 トラブルの予防と対応 42

3-2 保険について 47

3



医療通訳に特徴づけられるコミュニケーションとは何か？



引用元：東京大学医療コミュニケーション教室資料
<https://www.u-tokyo.ac.jp/hc/file/presentation.pdf>

順天堂大学大学院医学研究科 医療通訳コース内容



2020.11.04 (WED)
 プレスリリース 大学・大学院

順天堂大学大学院医学研究科に医療通訳者養成のための「ヘルスコミュニケーションコース」を開設

～ 医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、医療通訳者の養成を目指す ～

順天堂大学大学院医学研究科（医学研究科長：服部信孝）は、医学研究科医科学専攻修士課程に、医療通訳者（英語・中国語）を養成するヘルスコミュニケーションコースを開設します（2021年4月開講予定）。ヘルスコミュニケーションコースは、厚生労働省の医療通訳者養成カリキュラムに基づく認定医療通訳者養成講座を修め、医療通訳に必要な専門的知識、技法を体得し、医療通訳を必要としている患者や家族に適切な支援を提供して、医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、医療通訳に重要な役割を果たす人材を養成します。

2003年
 MICかながわが、横浜市国際交流協会の助成を受け、横浜市内の医療機関に医療通訳の派遣を開始

2004年
 大阪外大大学院で「医療通訳翻訳の実務論」を開講

2015年
 大阪大学大学院国際・未来医療学講座医療通訳養成コース開講（1年コース、りんくう医療総合センターが後援）

2016年
 藤田保健衛生大学大学院保健学研究科に医療通訳分野の修士課程が開講

2017年
 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科に「医療通訳・国際医療マネジメント分野」新設

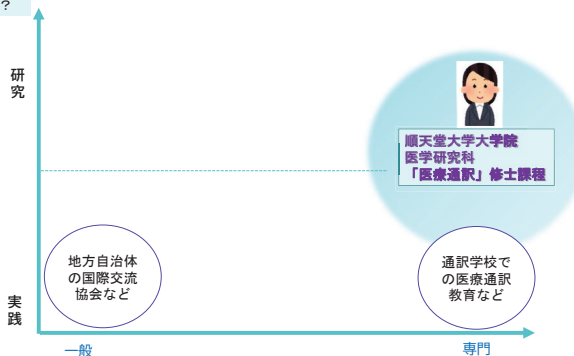
専門教育機関として厚生労働省の「医療通訳者養成カリキュラム基準」に準拠

2021年
 順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻に「医療通訳」新設

日本通訳学会第5回年次大会・コミュニティ通訳分科会特別企画シンポジウム（2004）
 「日本における医療通訳の現状と課題」
 専門用語が多いボランティアでは難しい

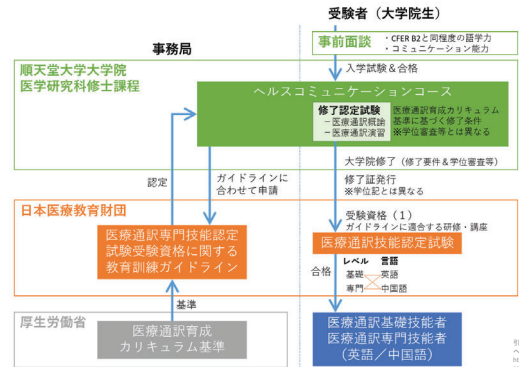
© 2021 Naoko Ono

医療通訳教育における本コースの位置づけは？



© 2021 Naoko Ono

順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻ヘルスコミュニケーションコース：概要フロー



引用元：順天堂大学大学院医学研究科
<https://med.juntendo.ac.jp/education/health/>
https://med.juntendo.ac.jp/education/health/online_0101course_healthcommunication.html

厚生労働省の「医療通訳育成カリキュラム基準」に基づいたコース

講義項目	講義分野	必要時間
オリエンテーション		
・通訳理論 ・医療通訳者の役割 ・対話通訳と相互作用	医療通訳理論	7.5時間～
・日本に暮らす外国人の現状 ・外国人医療の現状 ・外国人の在留資格と滞在ビザ	患者の文化的および社会的背景についての理解	1.5時間～
・情報収集方法（用語集の作成と情報収集）	通訳に必要な通訳技術	1.5時間～
・医学概論 ・身体の仕組みと疾患の基礎知識 ・検査・薬に関する基礎知識	医療の基礎知識	2.4時間～
・日本の医療制度の特徴 ・社会保障制度	日本の医療制度に関する基礎知識	4.5時間～

引用元：厚生労働省「医療通訳育成カリキュラム基準」
https://www.mhlw.go.jp/file/05_Setsakujouhou-10800000-iseikyoku/0000209866.pdf

開設までの道のり



01 幅広い受入体制

本学修士課程の入学者選抜の方針



03 社会人大学院生・外国人留学生の受入



02 入学試験（語学試験）の免除



本コース入学者選抜の方針（アドミッションポリシーより）

事前面談における確認事項

- 語学力** 厚生労働省医療通訳養成カリキュラムに準じ、CEFR B2相当の語学力が身につけているか確認
- コミュニケーション** 目的意識と倫理性および積極的態度を有しているか、自分の考えを適切に表現することができるかどうか、対話によるコミュニケーションを通じて確認
- 適性** 医療通訳者として病院スタッフや患者さんと共に働く意欲を確認し、維持することができるかどうか
専門科目を学び、修士論文を執筆する意欲があるか

01

入学試験選抜として 語学試験及び面接試験を実施

出願前に、本コースが求める水準を満たしているかどうかを確認するため、本コース担当教員による事前面談が必須

02

引用元：順天堂大学大学院医学研究科ヘルスコミュニケーションセンター
https://med.juntendo.ac.jp/education/health/center_info/course_healthcommunication.html

順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻ヘルスコミュニケーションコース：教授陣



コース担当専任教員（フランソワ・ニヨンサバ、野田愛、大野直子）：主に論文指導、病院実習を担当

外部招聘教員の一例（例：2021年度医療通訳概論）

- 南谷かおり先生（りんくう総合医療センター 国際診療科 部長、医師）
- 矢島行子先生（MICかながわ英語医療通訳兼コーディネーター、全国医療通訳者協会NAM1事務局）
- 神成美幸先生（看護師）
- 白川忍先生（中国語医療通訳者、国際医療福祉大学非常勤講師）
- 重野亜久里先生（多文化共生センターきょうと 代表）
- 井上茂之先生（健生会羽村相互診療所 医師）
- 澤田真弓先生（メディアフォン株式会社 代表取締役 CEO）
- 森田直美先生（NAM1代表理事、英語医療通訳者、会議通訳者）
- 石田牧子先生（日・米看護師）
- 栗原朋之先生（会議通訳者）
- ジュリア・クネセヴィチ先生（豪州NAATI認定医療通訳者、順天堂大学非常勤講師）
- 村松紀子先生（医療通訳研究会MEDINT代表）

コース設立にあたりご支援いただいた主な先生方：

国際医療福祉大学 押味貴之先生
 藤田医科大学 (2020年度) 服部しのぶ先生

順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻ヘルスコミュニケーションコース：基礎教育科目

必修10単位を履修すること。

授業科目	必修/選択
基礎医科学概論Ⅱ（人体機能構造学）	必修
基礎医科学概論Ⅰ（生化学・生理学）	必修
医科学研究方法論Ⅰ（医学研究デザイン、演習）	必修
医学と社会医療Ⅰ（医療倫理学）	必修
健康行動科学概論	選択
医療保健福祉法・政策概論	必修
医療通訳概論	必修

引用元：順天堂大学大学院医学研究科ヘルスコミュニケーションセンター
https://med.juntendo.ac.jp/education/health/center_info/course_healthcommunication.html

順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻ヘルスコミュニケーションコース
： 専門教育科目



必修10単位、選択必修1単位以上を履修すること。
※国際感染症学または感染症の基礎と臨床いずれかを必修

授業科目	必修/選択必修/選択
医療コミュニケーション、臨床医学概論 (内科系、外科系)、健康と文化・社会、 医療通訳演習、医療通訳病院実習(2年 次)	必修
国際感染症学、感染症の基礎と臨床	選択必修
医療カウンセリング概論、メタボリック シンドロームの基礎と臨床、免疫の仕組 みと疾患、がんと遺伝子、検査医学と病 理、大学院セミナー	選択

引用先：順天堂大学大学院医学研究科
ヘルスコミュニケーションコース
http://med.juntendo.ac.jp/education/hsa/course_info/course_healthcommunication.html

順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻ヘルスコミュニケーションコース
： 特別研究科目と修了要件

授業科目	単位数	必修/選 択	開講時期
医科学特別研究(研究・論文指導)	4	必修	2通年

※所属する研究分野「医療通訳」が開講する特別研究科目を履修する。

Ⅰ 修了要件及び履修方法

必修24単位、選択必修1単位以上、選択5単位以上、計30単位以上を修得し、必要な論文指導を受け、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

引用先：順天堂大学大学院医学研究科
ヘルスコミュニケーションコース
http://med.juntendo.ac.jp/education/hsa/course_info/course_healthcommunication.html

順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻ヘルスコミュニケーションコース
： 得られる学位、資格

- 修士論文審査及び最終試験に合格した学生に**修士(医科学)**の学位を授与
- 医療通訳育成カリキュラム基準に基づく修了条件を満たし、修了認定試験に合格した者に、**認定医療通訳コース(基礎、専門)**の修了証を授与
- 本コースは一般財団法人日本医療教育財団の認可を受けており、修了者は日本医療教育財団が実施する**医療通訳技能認定試験の基礎・専門試験の受験資格**を得る

引用先：順天堂大学大学院医学研究科
ヘルスコミュニケーションコース
http://med.juntendo.ac.jp/education/hsa/course_info/course_healthcommunication.html

順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻ヘルスコミュニケーションコース
： 他の大学院や医療通訳養成コースとの違い

我が国初の、 医学系研究科 に新設されたコースである	ヘルスコミュニケーションコースとして 医療コミュニケーション が必修の授業に入っている	医学研究科内の他のコースと同様に修士論文が審査される
-----------------------------------	--	-----------------------------------

© 2021 Naoko Ono

Contents lists available at ScienceDirect

Patient Education and Counseling
journal homepage: www.elsevier.com/locate/pateducou

Medical Education
Development and pilot testing of a novel education method for training medical interpreters

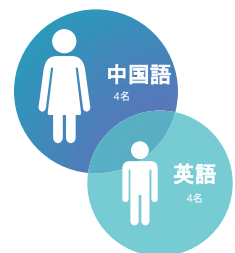
Naoko Ono*, Takahiro Kiuchi, Hirono Ishikawa
Department of Social Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

ARTICLE INFO
Article history:
Received 13 August 2012
Received in revised form 17 July 2013
Accepted 3 September 2013

ABSTRACT
Objective: The goal of this study was to determine core competencies by means of a systematic literature review and to design and test an interpreter training program.
Methods: Core competencies in medical interpreting were searched using a systematic literature review. An intervention program was developed to improve core competencies. Pretests and posttests were conducted to pilot-test knowledge and interpreting skills in participants aged 22–52 years (n=43). Results of the tests were compared.
Results: Results of the systematic review indicated five core competencies: (a) maintaining accuracy and completeness; (b) medical terminology and understanding the human body; (c) behaving ethically and making ethical decisions; (d) nonverbal communication skills; and (e) cross-cultural communication skills. Statistical analysis showed a significant improvement in knowledge and interpreting skills in the intervention program compared with the control program.
Conclusion: Posttest assessment showed that the developed training system can be useful in improving knowledge and quality in medical interpreting.
Practice implications: A 3-day training program for medical interpreters could bridge the gap between medical professionals and patients with limited English proficiency while being amenable to integration into clinical flow.

1期生

- 30件以上の問い合わせ、数十件の事前面談
- 2021年度合格・入学者：英語4名、中国語4名
- 入学者の内訳：医療通訳経験者5名、医療者1名

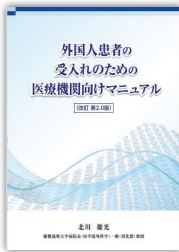


© 2021 Naoko Ono

将来的展望：専門職化への動き（教科書）



引用元：厚生労働省 医療通訳に関する資料
<https://www.mhlw.go.jp/f/shokuhokushokusha/kyorai/00000000443.html>



引用元：厚生労働省 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル第2版
<https://www.mhlw.go.jp/content/000000000646749.pdf>



引用元：経済産業省 外国人患者の受入参考書
https://www.meti.go.jp/policy/immigration_info_service/healthcare/your/banrikaadai/pdf/2019_saikoukyou_all.pdf

将来的展望：専門職化への動き（学会）

日本医療通訳学会



ホーム 入会案内 役員等 学術集会 学会雑誌 リンク等

ヘルスコミュニケーション学会内会としてヘルスコミュニケーションとつながるテーマを研究

医療通訳学研究の発展
 研究と実践の相互連携を重視
 2020年国際臨床医学会(ICM)認定「医療通訳士」認定制度発足

学会の概要

医療通訳は、語学と異文化コミュニケーションの能力を必要とする高度なヘルスコミュニケーションです。従来、学際としての医療通訳学を対象とする学術団体は存在していませんでしたが、日本医療通訳学会が2021年1月に設立されました。日本通訳学会は、下記の方針のもと、必要な学術集会、学術雑誌の発行等の活動を行っていく予定です。

1. 異文化コミュニケーションと語学を含む高度なヘルスコミュニケーションとしての医療通訳学の確立
2. 実証研究などによるエビデンスに基づいた科学としての医療通訳学研究を目指す
3. 研究と実践の相互連携を重視

引用元：日本医療通訳学会
<https://plaza.umin.ac.jp/medicalinter/pre/>

将来的展望：本コースの目指す医療通訳者像

医療者と患者間のコミュニケーションを支援する、
 =ヘルスコミュニケーターとしての
 医療通訳者の養成を目指す

医療通訳理論
 患者の文化的および社会的背景についての理解
 通訳に必要な通訳技術
 医療の基礎知識
 日本の医療制度に関する基礎知識

医学研究に関する理解
 医療者の考え方への理解
 ヘルスコミュニケーションの知識
 仁のこころ（他を思いやり慈しむ心）

共に学ぶ仲間を募集しています



© 2021 Naoko Ono



ご清聴ありがとうございました

<コース内容に関するお問い合わせ先>
 順天堂大学大学院医学研究科
 ヘルスコミュニケーションコース
 准教授 大野 直子 TEL：03-3813-3111
 E-mail: hcmedit@juntendo.ac.jp

<取材に関するお問い合わせ先>
 順天堂大学 総務部 文書・広報課
 担当：松浦 剛志 TEL：03-5802-1006